

整理番号：3

稚内港湾施設 株式会社

対面のみ オープン・カンパニー



事業所データ	
業種	製造業
事業所所在地	〒097-0001 稚内市末広1丁目1番34号
事業内容	船舶製造業及び修理業 鋼構造物製造業
本社所在地	〒097-0001 稚内市末広1丁目1番34号
管内事業所	
代表者	代表取締役社長 風無 成一
創業	昭和 33(1958)年 3月 17日
資本金	10,000 万円
会社沿革	※次ページ資料のとおり
従業員数	61 名（うち正社員：55 名）
年間売上額	119,094 万円(令和 5 年 6 月期)
ホームページ	https://kouwan.co.jp/

インターンシップ等実施概要・応募要項	
受入対象	高校生、大学生（文系）、大学生（理系）、短大生、専門学校生、既卒者
実施期間・日数	通年・要相談
実施内容	・会社説明 ・構内見学
募集人数	1 名から対応可
実習地住所	〒097-0001 稚内市末広1丁目1番34号
募集期間	通年
選考について	選考あり

応募先・問合せ先
〒097-0001 北海道稚内市末広1丁目1番34号 TEL：0162-23-2365 メール：y.takase@kouwan.co.jp 担当者：高瀬 裕太

■ 稚内港湾施設(株)の沿革

終戦後の稚内市における水産業は、地元経済界はもとより、我が国の動物性食料産業の担い手として重要な使命を帯びておりました。特に底びき網漁船による沖合漁業の漁獲物が80%強を占め、その他イカ釣り漁船、ニシン刺し網漁船、カニ漁船等も多く、稚内は北洋海域への前線基地として外来船も数多く入港し、本道有数の漁業根拠地に発展しました。

しかしながら、これら船舶の造船・修理は、大半が道南および本州方面に依存していたため、昭和24年頃から地元で造船鉄工場の建設を要望する声が高まりましたが、資金事情等に加えて、港湾整備が遅れていたため実現を見るに至らず、それが昭和30年頃には国費による港湾整備の進展があり市当局および業界の積極的な運動、また北海道開発庁（北海道開発局）、運輸省（北海海運局）の指導により、北海道東北開発公庫より4,000万円の出資を得たのをはじめ、稚内市3,000万円、株式会社新潟鉄工所1,000万円、地元有力者3,000万円の出資をみて、遂に昭和33年3月17日に稚内港湾施設株式会社を創立した次第であります。

以来、沖合底びき網漁船を主力とした船舶の大型化、同船の一部北洋転換策により、トロール船の近代化が急速に進められ、それに伴って造船・修理施設も整備されました。一方、造修技術を以って進出した製缶部門の拡充により、昭和39年には札幌工場を開設し稚内本社と同等の設備を整備し、札幌を中心に釧路、室蘭、苫小牧、函館等の発電所、油槽所など大規模工事を手がけておりましたが、同札幌工場は昭和46年に石川島播磨重工業株式会社より生産系列会社の指定を受けました。翌47年末には船舶の受注増、船舶の大型化・多様化に伴い1,900トン乾ドックと船殻および艀装工場を完成させ、また昭和51年春には、従来の小型鋼製漁船の建造実績を基調とし、本道漁業が指向する沿岸漁場開発の進展に対応させたFRP漁船専用工場を完成させました。

しかし、昭和52年の米・ソの経済水域200海里の設定を境にサハリン海域を含むロシア（旧ソ連）水域での操業は大幅に制限されることとなり、大型漁船の相次ぐ減船により当社もまた甚大な影響を被るようになりました。

昭和60年には札幌工場を閉鎖し、更に昭和61年3月の14トン漁船の進水を最後にFRP漁船の造船事業からも撤退し、不採算部門の整理を断行いたしました。

斯ように厳しい環境下にありましたが、稚内基地に残された8隻の沖合底びき網漁船をはじめ、大・中型船舶の造・修工事のできる造船所を目指し、近年利尻・礼文島の観光ブームによる離島航路の活況に向け、平成元年には乾ドックを3,200トン型に拡大、更に平成11年には道北のシンボルと成りうる4,000トン型乾ドックを完成させて官庁船やフェリーなどの受注にも努力をしております。

また、ロシア船等の外国船の修理やサハリン地下資源プロジェクト関係工事の第一弾として平成17年6月には「サハリンI」関連のヴァンオード社（オランダ国）より受注のバージ船（ジャイアントⅢ）改造工事を行いました。工期3週間契約の仕事を一週間で仕上げ、ヴァンオード社の期待と要望に見事に応え得た事は、当社としても大いに志気が上がり嬉しいこととございました。以来、同年7月には「サハリンⅡ」関連の新日鐵からのウォーターモジュール仮置架台工事の受注の他、平成18年4月にはヤーンステン、同年7月にはジャイアントⅡの改造工事も完成させております。平成19年には急がれているサハリン主要道路整備の為にどうしても必要とされる、アスファルトタンク並びに関連する設備の製作依頼等、各種の依頼を受けている処であります。

今後も国内はもとより、広く海外に目を向け役職員一丸となって皆様のご期待に添うべく、精進して参る所存であります。